

〈プレスリリース〉

日本政府、市民協会ロナルド・マクドナルド・ハウス・ベネズエラを支援

2018年1月19日、在ベネズエラ日本国大使館において、岡田憲治在ベネズエラ・ボリバル共和国日本国大使と、アウレリオ・ガルベス市民協会ロナルド・マクドナルド・ハウス・ベネズエラ会長との間で、同協会の療養施設家電機材改善計画のための、日本政府の草の根・人間の安全保障無償資金協力を通じた贈与契約の署名式が行われました。この贈与の合計金額は、59,552米ドルで、家電、調理器具及び浄水器等購入に充てられる予定です。

市民協会ロナルド・マクドナルド・ハウス・ベネズエラは、国際慈善団体であるロナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズのベネズエラ支部として、2001年に設立され、子供、青少年、その家族の健康と福祉を支援しています。2005年11月以来、同市民協会は、医療サービスを受けるために、地方からカラカスに来る低所得者家族に、無料宿泊施設を提供しており、運営開始依頼、2017年12月末までに、1万3,000人以上の未成年患者及び保護者にサービスを提供してきています。今回の日本国政府の協力により、同市民協会では、滞在に必要な家電の大型化や調理機材が更新され、毎年、約1,000人が、同ハウスの恩恵を受ける事となります。

日本政府の草の根・人間の安全保障無償資金協力は、基本的なヘルスケア、基礎教育及び貧困緩和、その他の分野における開発プロジェクトを支援する目的を有する地方公共団体、非政府組織(NGO)、教育機関及び医療機関等向けの無償資金協力です。日本政府は、1999年よりこの協力を続けてきており、これまでに、56のベネズエラの団体及び組織等に対して、総額3.9百万ドル以上供与しています。



(了)